

## 令和7年度第77回栃木県中学校総合体育大会ソフトボール大会要項

- 1 主 催 栃木県中学校体育連盟
- 2 主 管 栃木県中体連ソフトボール専門部、栃木県ソフトボール協会
- 3 後 援 下野新聞社
- 4 会 期 令和7年7月11日(金)・12日(土) 予備日13日(日)
- 5 会 場 大田原グリーンパークA～D球場
- 6 参加校数 各地区から選出された16チーム
- 7 参加資格 (1)「栃木県中学校体育連盟主催大会実施要項 7参加資格について」に定められたもの。  
(2)令和7年度栃木県ソフトボール協会にチーム及び個人登録をしているもの。  
(3)地域クラブ活動の参加資格については別紙「令和7年度栃木県中学校体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加資格等の特例」及び「令和7年度栃木県中学校体育連盟ソフトボール専門部 競技細則」に基づき、令和7年4月1日から4月30日までに栃木県中学校体育連盟に申請し、承認を得た地域クラブ活動とする。
- 8 チーム編成 「栃木県中学校体育連盟主催大会実施要項」に定めるもののほか、次の通りとする。  
(1)引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の合計21名以内とする。  
(2)コーチは当該校の教員・部活動指導員または外部指導者とする。地域クラブについては(4)に定める。  
(3)監督30番、コーチ31番、32番、主将10番の背番号をつけたユニフォームを着用すること。  
(4)地域クラブの引率責任者・監督・コーチは「地域クラブ活動登録申請書」に記載されたものとする。  
また、「令和7年度栃木県中学校体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加資格等の特例」を遵守しているものとする。
- 9 競技方法 トーナメント方式
- 10 競技規則 2025年度(財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールに準ずる。  
ただし、本大会規定を優先する。
- 11 組合せ 代表者会議において抽選により決定する。  
【代表者会議】(1)期 日 令和7年7月1日(火) 午後3時00分  
(2)場 所 栃木県教育会館 小会議室  
(3)出席者 専門部役員・各地区専門部長・クラブチーム代表者とする。  
※県大会出場チーム代表者も参加することができる(各チーム1名まで)
- 12 表 彰 優勝、準優勝、第3位チームを表彰する。優勝チームには優勝旗を授与する。
- 13 使用球 (財)日本ソフトボール協会公認認定球(3号球)を使用
- 14 開会式 実施しない。

## 15 大会規定

- (1) 本大会の優勝チームを令和7年度関東中学校ソフトボール大会本県第1代表とし、準優勝チームを第2代表とする。優勝・準優勝チームのいずれかが令和7年度全日本中学生ソフトボール大会出場の権利を保持していた場合、本大会の第3位のチームを令和7年度全日本中学生ソフトボール大会の本県代表とする。
- (2) ベンチは組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
- (3) 打順票を前試合の4回終了後に各球場バックネット裏へ4部提出し、攻守の決定をする。
- (4) ベンチ入場者数は引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の計21名以内とする。
- (5) フィールディングは後攻チームより5分以内とする。(ベンチ入場者で行う)
- (6) 外部指導者は校長の認めたものとし、必ず代表者会議までに登録をする。
- (7) コーチの任務は以下の通りとする。
- ・試合前のフィールディングをすることができる。
  - ・ベンチ内で選手に指示を与えること、サインを出すことができる。
  - ・審判の割り当てにより、監督にかわって墨審にあたることができる。
  - ・選手交代、打ち合わせ、抗議などは認めない。
- (8) コールドゲームは降雨の場合5回以降得点差とする。得点差の場合は、3回終了時15点差、4回終了時10点差、5回以降7点差とする。降雨、日没などによってコールドゲームが成立するイニングまで進行できない場合はサスペンデッドゲームとし、予定を遅らせて試合を行う。その際、審判・会場を変更する場合がある。
- (9) 1回戦のみ時間制(90分)を設ける。2回戦以降はオフィシャルルールに準ずる。
- (10) 審判の割り当ては責任をもって当たる。(墨審を行う。球審は協会公認審判員が行う。)
- (11) 打者、走者、捕手、ランナーコーチはヘルメットを着用する。
- (12) コーチヤーズボックスに立てるのは選手のみとする。
- (13) 雨天等により試合が続行できない場合は順延とするが、会場を変更することができる。
- (14) 選手によるタイムは30秒以内とし、各回1回とする。この選手だけによるタイムは作戦タイムとはしないが、相手ベンチは選手を集めて指示をすることができる。
- (15) 応援は鳴り物(ペットボトルやうちわなども含む)は禁止とする。また、投手のセットからリリースまでは、それ以外の応援・発声も中断する。
- (16) 検定マークがないバットは使用できない。
- (17) フィールディング中は、自チームベンチで待機し、応援等はしないこととする。
- (18) ユニフォームの背中に個人名を入れる際は、プログラムに掲載の姓名を表示すること。  
(姓または名のみでもよいが、ニックネームなどは不可とする。)また、ユニフォーム・ヘルメットに広告を入れることは認めない。(チーム名の表示は可)
- (19) 合同チームのユニフォームについては統一されたものが望ましいが、統一できない場合であってもユニフォームナンバーの重複はしないこと。また、大会本部の判断によりビブスの着用を求められた場合には応じること。
- (20) 競技場の外野及びファール地域フェンス内側には、横断幕等を掲示しない。
- (21) 選手のサングラスの着用については、眩惑による危険防止や健康上の目的での使用を認める。
- (22) ゲーム中のピッティング練習はファール地域で1組のみとする。捕手はマスクを着用すること。
- (23) ベンチ外から作戦指示・それに伴う助言をしてはならない。
- (24) 試合中のバックネット裏及びセンターバックスクリーン周辺でのビデオ撮影は禁止とする。

## 16 安全対策

大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃木県中学校体育連盟「危機管理マニュアル及びEAPシート」に則り、適切に対応する。

## 17 実施判断

\* 天候等による実施の判断は当日5時30分に行い、各地区専門部長あて連絡する。

## 令和7年度 栃木県中学校新人体育大会ソフトボール大会要項

- 1 主 催 栃木県中学校体育連盟
- 2 主 管 栃木県中体連ソフトボール専門部・栃木県ソフトボール協会
- 3 後 援 下野新聞社
- 4 会 期 令和7年10月17日(金) 18日(土) 予備日20日(月)
- 5 会 場 柳田緑地公園①～④球場
- 6 参加校数 各地区から選出された16チーム
- 7 参加資格 (1)「栃木県中学校体育連盟主催大会実施要項 7参加資格について」に定められたもの。  
(2)令和7年度栃木県ソフトボール協会にチーム及び個人登録をしているもの。  
(3)地域クラブ活動の参加資格については別紙「令和7年度栃木県中学校体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加資格等の特例」及び「令和7年度栃木県中学校体育連盟ソフトボール専門部 競技細則」に基づき、令和7年4月1日から4月30日までに栃木県中学校体育連盟に申請し、承認を得た地域クラブ活動とする。(新人大会については7月1日から31日まで追加登録申請ができる。)
- 8 チーム編成 「栃木県中学校体育連盟主催大会実施要項」に定めるもののほか、次の通りとする。  
(1)引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の合計21名以内とする。  
(2)コーチは当該校の教員・部活動指導員または外部指導者とする。地域クラブについては(4)に定める。  
(3)監督30番、コーチ31番、32番、主将10番の背番号をつけたユニフォームを着用すること。  
(4)地域クラブの引率責任者・監督・コーチは「地域クラブ活動登録申請書」に記載されたものとする。  
また、「令和7年度栃木県中学校体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加資格等の特例」を遵守しているものとする。
- 9 競技方法 トーナメント方式
- 10 競技規則 2025年度(財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールに準ずる。  
ただし、本大会規定を優先する。
- 11 組合せ 代表者会議において抽選により決定する。  
【代表者会議】(1)期 日 令和7年10月7日(火) 午後3時00分  
(2)場 所 栃木県教育会館 小会議室  
(3)出席者 専門部役員・各地区専門部長・クラブチーム代表者とする。  
※県大会出場チーム代表者も参加することができる(各チーム1名まで)
- 12 表 彰 優勝、準優勝、第3位チームを表彰する。優勝チームには優勝旗を授与する。
- 13 使用球 (財)日本ソフトボール協会公認認定球(3号球)を使用
- 14 開会式 実施しない。

- 15 大会規定
- (1) 本大会の優勝チームを令和7年度関東中学生選抜ソフトボール大会の本県代表とする。
  - (2) ベンチは組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
  - (3) 打順票を前試合の4回終了後に各球場バックネット裏へ4部提出し、攻守の決定をする。
  - (4) ベンチ入場者数は引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の計21名以内とする。
  - (5) フィールディングは後攻チームより5分以内とする。(ベンチ入場者で行う)
  - (6) 外部指導者は校長の認めたものとし、必ず代表者会議までに登録をする。
  - (7) コーチの任務は以下の通りとする。
    - ・試合前のフィールディングをすることができる。
    - ・ベンチ内で選手に指示を与えたり、サインを出すことができる。
    - ・審判の割り当てにより、監督にかわって墨審にあたることができる。
    - ・選手交代、打ち合わせ、抗議などは認めない。
  - (8) コールドゲームは降雨の場合5回以降得点差とする。得点差の場合は、3回終了時15点差、4回終了時10点差、5回以降7点差とする。降雨、日没などによってコールドゲームが成立するイニングまで進行できない場合はサスペンデッドゲームとし、予定を遅らせて試合を行う。  
その際、審判・会場を変更する場合がある。
  - (9) 1回戦のみ時間制(90分)を設ける。2回戦以降はオフィシャルルールに準ずる。
  - (10) 審判の割り当ては責任をもって当たる。(墨審を行う。球審は協会公認審判員が行う。)
  - (11) 打者、走者、捕手、ランナーコーチはヘルメットを着用する。
  - (12) コーチヤーズボックスに立てるのは選手のみとする。
  - (13) 雨天等により試合が続行できない場合は順延とするが、会場を変更することがある。
  - (14) 選手によるタイムは30秒以内とし、各回1回とする。この選手だけによるタイムは作戦タイムとはしないが、相手ベンチは選手を集めて指示をすることができる。
  - (15) 応援は鳴り物(ペットボトルやうちわなども含む)は禁止とする。また、投手のセットからリリースまでは、それ以外の応援・発声も中断する。
  - (16) 検定マークがないバットは使用できない。
  - (17) フィールディング中は、自チームベンチで待機し、応援等はしないこととする。
  - (18) ユニフォームの背中に個人名を入れる際は、プログラムに掲載の姓名を表示すること。  
(姓または名のみでもよいが、ニックネームなどは不可とする。)また、ユニフォーム・ヘルメットに広告を入れることは認めない。(チーム名の表示は可)
  - (19) 合同チームのユニフォームについては統一されたものが望ましいが、統一できない場合であってもユニフォームナンバーの重複はしないこと。また、大会本部の判断によりビブスの着用を求められた場合には応じること。
  - (20) 競技場の外野及びファール地域フェンス内側には、横断幕等を掲示しない。
  - (21) 選手のサングラスの着用については、眩惑による危険防止や健康上の目的での使用を認める。
  - (22) ゲーム中のピッティング練習はファール地域で1組のみとする。捕手はマスクを着用すること。
  - (23) ベンチ外から作戦指示・それに伴う助言をしてはならない。
  - (24) 試合中のバックネット裏及びセンター・バックスクリーン周辺でのビデオ撮影は禁止とする。
- 16 安全対策
- 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃木県中学校体育連盟「危機管理マニュアル及びEAPシート」に則り、適切に対応する。
- 17 実施判断
- \* 天候等による実施の判断は当日5時30分に行い、各地区専門部長あて連絡する。